

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	58.1%	○				
数学	52.5%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	59.2%	○				
情報の扱い方に関する事項	59.6%	○				
我が国の言語文化に関する事項	75.6%					○
話すこと・聞くこと	58.8%	○				
書くこと	65.3%			○		
読むこと	47.9%	○				

【考 察】

- 「我が国の言語文化に関する事項」については全国平均を上回る正答率となりました。「書くこと」の領域については単元の学習のまとめとして意見文や鑑賞文に何度も取り組ませたことがあり、確実に力が身につけてきています。
- 一方で、全国平均を下回っている領域は4つという結果でした。特に「読むこと」の領域では、情報の読み取りとそれらを活用して内容をまとめるなどの活動の機会を増やし、言葉や語句の意味、文章の構成を意識した学習課題を検討するなど、指導方法を工夫してまいります。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.1%	○				
図形	40.3%	○				
関数	60.7%	○				
データの活用	55.5%	○				

【考 察】

- 各領域で、用語の意味やその使い方に関する問題の正答率が全国平均を下回りました。今後は、用語の意味を正しく理解させた上で、適切に活用する場面を多く設定していきます。また、授業時間の中に自分の力で考える時間を確保するとともに、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ってまいります。
- 筋道を立てて考え、数学的な表現を用いて説明・証明することに課題が見られ、記述式問題の無回答率が高い結果となりました。特に「図形」の証明では、図に印をつけながら問題文を読むなどの工夫をさせることで、必要な情報を適切に読み取る力を身につけさせ、さらに、条件を変えた問題に取り組ませるなど指導を工夫し活用力を高めてまいります。

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	28.2	50.4	18.1	3.0
	東 中	15.4	51.3	30.8	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 全体の66.7%が分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができています。
- 以前に比べ、「分からないこと」をそのままにせず、学習に取り組む生徒が増えています。一方で知識・技能の定着には課題があり、「分からないこと」があったときに、どのようにすれば身に付くのかを考えてから学習に向かえるよう、今後も指導してまいります。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6
	東 中	2.6	10.3	46.2	28.2	10.3	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 平日の家庭学習の時間として1時間以上勉強している生徒は、全体の59.1%であり、全国と比べると低い値になっています。家庭学習につながるよう効果的に生活ノートを活用したり、学習目標や計画を立てる機会を設けるなどの工夫をして、家庭学習の時間が十分に確保できるよう指導を続けてまいります。
- 自己実現を図るための手段として家庭学習の重要性を再確認し、意識改善を図ってまいりますので、ご家庭での励ましの声かけなどお願いします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	27.1	50.8	18.0	3.2
	東 中	15.4	59.0	20.5	5.1

(単位 %)

【考 察】

- 全体の74.4%が分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができています。分からないところを教師や友人に聞いて理解しようとする姿が以前よりも多く見られるようになってきました。
- さらに実力テストや定期テストの見直しや授業の復習をする際に、自分の分からないところを明らかにし、教科書やノートを活用して解き方を自分で考えるなど、主体的に学習に取り組むことができるよう声をかけていきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	46.1	46.2	5.4	1.4
	東 中	17.9	74.4	5.1	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 全体の92.3%が授業や学校生活において、周囲の考えを大切にし、お互いに協力しながら課題解決に取り組むことができています。特に、授業時における話し合い活動や分からないことを教え合う活動に積極的に取り組む生徒が多くなりました。
- 授業に向かう姿勢に真剣さが増し、集中して学習活動に取り組める生徒が増えてきていることから、生徒自身で学習するよい環境や雰囲気をつくることできるようになっています。学年全員で進路実現に向けて頑張れるよう今度も指導してまいります。